



DIOCESE OF HIROSHIMA

ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

2026年3月16日

広島教区で働くすべての司祭 各位

広島教区 司教
アレキシオ 白浜 満

聖なる油の容器と「復活のろうそくの祝福（試用版）」について

+主の平和

復活祭、および新年度に向けた準備の日々を、お元気で有意義にお過ごしのことと拝察いたします。標記、二つの件でのお知らせです。

①「復活のろうそくの祝福（試用版）」について

この試用版は、日本カトリック典礼委員会が準備した復活徹夜祭のミサ以外のときに任意で用いる祝福の式文で、今年2月に開催された2025年度臨時司教総会で承認されました。カトリック中央協議会のウェブサイトで公表されています。<https://www.cbcj.catholic.jp/2026/03/13/36954/>
必要に応じて、教区内の小教区・巡回教会・修道院などで、ご活用いただけますと幸いです。

②聖なる油の容器について

「四旬節・聖なる過越の三日間・復活節の典礼に関する補足事項」（カトリック中央協議会、2019年2月25日発行）によると「祝福された油と聖別された油を入れる容器はビニール製などの簡易なものではなく、ふさわしい品位のある容器を用いることが望ましい」（6頁）とされています。また、信者に見えるしるしとなるよう、できれば聖堂内（あるいは香部屋など）のふさわしい場所に、聖なる油を保管する専用の場所を整えることが勧められています（15頁）。

この勧めに従って、広島教区では、今年の聖香油のミサ（4月1日午後2時）より、次ページの写真のような新しい瓶の容器を用いることにします。今年は、すべての小教区のために教区本部事務局にて3つの容器を準備し、新しい聖なる油を入れてお渡しします。信徒数の多い小教区には、ご要望に応じて、必要となる油の瓶の容器を追加することもできます。ただし、申し訳ございませんが、新しい瓶の容器の代金は、各小教区に負担していただくこととなりますので、ご理解とご協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。

これまで使用してきたビニール製の簡易な容器は使い捨てとなっていました。資源や環境への配慮から、来年からは各小教区より、これら3つの容器を必ず持参していただき、聖香油のミサ後、新しい聖なる油を、瓶の容器に直接注入して持ち帰っていただくようにしたいと思います。



DIOCESE OF HIROSHIMA

ALEXIS MITSURU SHIRAHAMA
DEI ET APOSTOLICAE SEDIS GRATIA EPISCOPUS HIROSHIMAENSIS

BISHOP'S OFFICE
4-42 NOBORI-CHO
NAKA-KU HIROSHIMA
〒730-0016 JAPAN

PROT.N.

そのために古い油は、事前に、それぞれの容器から脱脂綿などに出し、各小教区で燃やして処分していただく必要があります。

「四旬節・聖なる過越の三日間・復活節の典礼に関する補足事項」(カトリック中央協議会)の13頁～15頁に掲載されている「聖なる油を受け取る式」を添付していますので、典礼による信者の養成のために、ご活用いただければ幸いです。

それでは、よい聖週間をお過ごしください。



容器の油の略号は、以下の通りです。

- | | |
|---------------------------|------------|
| SC (Sanctum Chrisma) | 聖香油 |
| OI (Oleum Infirmorum) | 病者のための油 |
| OC (Oleum Catechumenorum) | 洗礼志願者のための油 |

※略号としてOSを用いる場合があるようですが、これは3つの聖なる油 (Olea Sancta) の総称であるために、個々の油には使いません。



+ Alexis Mitsuru Shirahama

以上